



UNITED NATIONS  
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION



# UNIDOの活動と日本の産業界からの 開発途上国／新興国への投資への期待



2022年3月17日（木）

EBRD/UNIDO共催ウェビナー『ESG投資を通じた持続可能な成長の実現』

国際連合工業開発機関（UNIDO）東京投資・技術移転促進事務所  
所長 安永裕幸



# UNIDO（国際連合工業開発機関）とは？

## ● ミッション

- 開発途上国や市場経済移行国における**包摂的で持続可能な産業開発**  
**(Inclusive and Sustainable Industrial Development : ISID)** の推進  
= 工業開発により**一次産品依存**の経済構造を高度化（「付加価値」を付ける）

## ● 組織

- 創設: 1966年 加盟国: 170ヶ国
- 本部: ウィーン（オーストリア）
- 事務局長: ゲルト・ミュラー  
(元・ドイツ経済協力・開発大臣（右写真）)

## ● 東京事務所のミッション

- 創設: 1981年
- 目的: 日本から開発途上国への**投資・技術移転**の促進



# UNIDOの活動

## 主要テーマ

1. **Creating Shared Prosperity** : 農産物加工、女性・若者への職業訓練、人間の安全保障
2. **Advancing economic competitiveness** : 産業インフラ整備、投資・技術移転、中小企業振興、輸出貿易促進、基準認証・標準化、起業家支援
3. **Safeguarding the environment** : 低炭素・再エネ技術の推進、エネルギーアクセス向上、国際環境条約の実施（CFCs、POPs、水銀等）
4. **Strengthening knowledge and institutions** : 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の達成に向けたUNIDOの活動広報

上記テーマに関して、①技術協力、②調査研究・政策提言、③規範策定・普及、④知識の共有・ネットワーク作り・産業協力に向けた国際会議開催、などを通じて実施。



# UNIDO東京事務所について

➤日本から開発途上国・新興国へ向けた、直接投資や技術移転の促進を目指して、1981年、UNIDO東京投資・技術移転促進事務所が設立

## 主な活動内容

- ・ 投資担当官の招聘（デレゲート・プログラム）
- ・ 技術移転
- ・ セミナーの開催
- ・ 技術視察
- ・ 海外活動支援



国連大学本部ビル（表参道）

# 投資担当官の招聘(デレゲート・プログラム)

- アジア・中南米・アフリカ等の途上国において海外投資誘致や技術移転に携わるキーパーソンを日本に招聘し、企業との面談やセミナーを開催。

## 日本企業にとってのメリット

- 途上国側のキーパーソンとのパイプ作り
- 現地の投資環境・技術ニーズの情報収集
- 現地訪問する際の受入れ支援



# 技術移転

- 日本企業の優れた技術を**サステナブル技術普及プラットフォーム (STePP)**へ審査・登録し、途上国・新興国とのネットワーク作りを支援（日本企業100社以上の技術を登録）。

## 日本企業にとってのメリット

- 途上国の官民関係者からの問合せ増加
- UNIDOが実施する他スキームによる支援
- 技術プロモーション活動（広報媒体の作成支援）





## 【参考】STePP（サステナブル技術普及プラットフォーム）の仕組み

- どんな企業も、UNIDO東京事務所に登録を申請可能。（[postmaster@unido.or.jp](mailto:postmaster@unido.or.jp)）  
《対象分野》 環境・エネルギー・アグリビジネス・保健衛生・防災
  
- 登録審査においては、次の諸点を専門家を交えた審査委員会でチェック。
  - 1) 開発途上国における適用可能性
  - 2) 既存の技術との比較優位性
  - 3) UNIDOのミッション（包摂的で持続可能な産業開発）への整合性
  - 4) 環境面及び企業の経済的な持続可能性
  
- 必ず「工場」「研究所」「ユーザ」等の実地見学を経た上で審査を実施。企業の技術内容の「現物」を確認するとともに、企業の開発途上国ビジネスの熱意等を聴取。
  
- 中小企業の登録技術に関しては、UNIDOが3分程度の紹介ビデオを作成。

## 【参考】 現在実施中のSTePP-demo 事業について

○日本政府の拠出を受け、開発途上国の保健・衛生環境の改善により感染症対策を進めるため、日本企業の技術を現地で実証するとともに、技術移転を実施中。

<社名、対象技術、実証・技術移転対象国一覧（1）>

企業名(本社所在地)	技術	実証・技術移転対象国
AGC株式会社(東京)	食品工場用電解水	ベトナム
株式会社キンセイ産業(群馬)	医療廃棄物焼却炉	ケニア
サラヤ株式会社(大阪)	消毒液製造プロセス 自動化	ウガンダ
Jトップ株式会社(大阪)	浄水器	インド
中和機工株式会社(東京)	医療廃棄物焼却炉	セネガル マダガスカル
TSP太陽株式会社(東京)	移動式診察設備	ケニア



## 【参考】現在実施中のSTePP-demo 事業について

<社名、対象技術、実証・技術移転対象国一覧（2）>

株式会社テクノメディカ（神奈川）	血液検査装置	ナイジェリア
テリオステック株式会社（東京）	消毒液	セネガル
株式会社トロムソ（広島）	浄水器	ベトナム
株式会社光と風の研究所（東京）	消毒液	インドネシア
日之出産業株式会社（神奈川）	生活排水処理施設	モロッコ
丸昌産業株式会社（栃木）	抗菌塗装	ケニア インド モンゴル

## 【参考】“STePP-demo” 事業のアフリカでの実施例



**Senegal**  
Installation of incinerator



**Kenya**  
Installing and assembling an incinerator for medical wastes at the local site



**Uganda**  
Workshop of the hand-hygiene instructions and sanitation practices for individuals working in food industry



**Madagascar**  
Final workshop (Demonstration for the minister of Health and the Japanese ambassador)



**Kenya**  
Training at the mobile PCR testing laboratory



**Nigeria**  
Training for how to handle the medical equipment

## セミナーの開催

- JICAやJETRO等の関連機関と連携して、**途上国・新興国の最新の投資・技術関連の情報**を提供する各種セミナー・ワークショップを開催。

### 日本企業にとってのメリット

- 現地の投資環境・技術ニーズの最新情報の入手
- 途上国側のキーパーソンとのネットワーク構築
- 日本企業の進出事例に関する知見の共有



# 技術視察

- 途上国からの官民関係者の来日時や駐日途上国大使館職員を対象とした**技術展視察**等を実施。

## 日本企業にとってのメリット

- 駐日大使館職員とのネットワーク構築
- 現地の技術ニーズに関する情報収集
- 大使館経由での本国政府機関との橋渡し



## 海外活動支援(アフリカ・アドバイザー)

- アフリカ7カ国（アルジェリア、ウガンダ、エチオピア、セネガル、ブルンジ、モザンビーク、ルワンダ）を対象とした**現地ビジネスアドバイザー**の配置。

### 日本企業にとってのメリット

- アドバイザーによる最新ビジネス情報・助言の提供
- 現地パートナー企業とのマッチング支援
- 現地訪問時の面談・視察訪問の取り付け





## 【参考】 UNIDO東京事務所のアフリカアドバイザー



**Mr. Kerrar**  
アルジェリア  
(及びチュニジア、  
モーリタニア)



**Mr. Tadesse**  
エチオピア  
(及びウガンダ、ルワ  
ンダ、ブルンジ)



**Mr. Durão**  
モザンビーク



**Ms. Ndiaye**  
セネガル  
(及びコートジボ  
ワール等、近隣の  
フランス語圏諸国)



## ご関心のある方は・・・

UNIDO東京事務所ウェブサイト：[www.unido.or.jp](http://www.unido.or.jp)

まずは一度、UNIDO東京事務所が開催するセミナーにご参加下さい。  
ご連絡先を頂戴した方へ、メールマガジンを不定期配信しています。

# Thank you

---

**UNIDO ITPO Tokyo**

Tel: +81-3-6433-5520

E-mail: [itpo.tokyo@unido.org](mailto:itpo.tokyo@unido.org)

URL: [www.unido.or.jp](http://www.unido.or.jp)

---